



第13回全日本ホルスタイン共進会北海道大会

10月7日(金)～10日(月)開催

全国ホルスタイン共進会は国内で発生した家畜伝染病の感染防止策として中止になった経緯があります。

しかしこの歴史ある共進会を今年こそ実施するために関係団体や町は防疫対策の強化を継続しながら本年度開催に向けて準備を進めています。

広報では共進会の成功のため、皆様のご理解や協力をお願いするとともに、開催までの間、共進会関連情報をお知らせします。

開催(延期)までの経過

昨年10月に開催予定でありました、北海道初開催となる記念すべき全日本ホルスタイン共進会は、宮崎県で発生した牛や豚などの家畜伝染病「口蹄疫」により本年10月7日～10日への開催延期となりました。

この措置は感染拡大防止策として全国各地各種イベントが自粛され、本町及び近隣町などでも取りやめるなどの対応を行ったものです。

8月末には宮崎県において口蹄疫終息宣言がされましたが、諸外国においては未だに

口蹄疫がまん延している状況なども踏まえ、町では防疫体制を強化し本年の開催に向け準備をしているところです。

共進会の目的

主催 社団法人日本ホルスタイン登録協会

我が国のホルスタイン種及びジャージー種の牛を一堂に集め、その水準を広く示し、改良増殖を推進し併せて堅実な酪農業の進展を目的としています。

乳牛改良の将来指針を得るために全国の代表牛の資質の比較検討を行うものです。

共進会の始まり

乳牛のオリンピックともいべき全日本ホルスタイン共進会は、昭和26年3月に神奈川県平塚市で第1回大会が開催され、昭和天皇のご臨席を賜り30県157頭の出品があり約10万人が来場しました。その後、静岡県、長野県などの酪農が盛んな県で5年に1度行われてきました。

本年10月に開催される北海道大会には各道府県の代表牛と生産者、一般参観者など

10万人の来場が見込まれます。

開催地として

全日本ホルスタイン共進会北海道大会が開催される会場の敷地面積は9・7畝あり、敷地内には北海道ホルスタイン共進会場」のほか「北海道ホルスタイン家畜市場」と「ホクレン南北北海道家畜市場」の共有施設があり、その家畜市場の規模としては日本一を誇ります。

また新千歳空港から車で20分という交通アクセスも全国からの来場者を迎える最適な条件といえます。

町では、昨年末新たに早来駅前、役場両庁舎等にPR看板設置するなど住民周知を図っています。

大会効果

全国から多くの人が集まるこの共進会では、道産食材による飲食店舗や地元農産物の即売も行われ、10万人の来場者が見込まれる大会では安平町を全国にPRする絶好の機会として、様々な経済の波及効果が期待されます。

大会の成功に向け

共進会の併催事業として、各種イベントが開催されますので、町内の団体や関係機関町民の皆様のご協力をお願いします。

町の実行委員会は、名称を安平町活性化イベント実行委員会とし、飲食、物販販売コーナー、ステージイベントなど来場する人たちの心に残る大会を目指しながら、安平町の魅力を発信していく予定です。

共進会及び併催事業等

出品頭数

ホルスタイン種 380頭
ジャージー種 40頭

酪農資材器具展示・技術交流会

酪農資材器具の展示、即売酪農情報、技術資料の展示、配布等

併催事業

北海道物産パビリオン(北海道の物産直売ゾーン)
北の食パビリオン(道内食材による飲食店舗ゾーン)
体感交流牧場(北海道酪農の歴史、酪農体験ツアー等)